

「あいうえお作文」

学校の儀式の中に終業式と始業式があります。そして、この式の中に必ずあるのが「校長からの話」です。2学期終業式と3学期始業式の校長からの話の内容をどうするか、あれこれ考えました。よくあるのは、終業式ではその学期を振り返ること、そして、始業式ではその学期でこれから行うであろうことを紹介することです。

さて、自分はどうかと考えたときに、今回はこのパターン以外で行うと決めました。普段、「専門性の向上」について、教職員に語る自分が、何か専門性を考慮した内容にできないものか、自分に宿題を課しました。幼稚部から中学部までの幼児児童生徒、発達段階も多様な子どもたちに対してどんな内容が適切なのかと、自問自答しました。

そして、最終的に「あいうえお作文」で話をすることにしました。あいうえお作文は題名を決め、その題名の各一文字にちなんだことばを、それぞれ短いことばで文を組み立てていくというものです。本校の子どもたちが、お題に関することばへの興味を示し、これまで身に付けたことなどを使って、様々考えてくれるのではないかと思ったのがその理由です。題名は「ふゆやすみ」としました。

- 1 「ふ」の付くことば・・・「ふ○」

ヒント：校長先生が得意なことですよ。

「ふで」を持ち、書き初めしよう



- 2 「ゆ」の付くことば・・・「ゆ○○○○」

ヒント：冬になると空から降ってくるもので作りますよ。

「ゆきだるま」を作って遊びたい



- 3 「や」の付くことば・・・「や○○」

ヒント：食べ物ですよ。

「やさい」をもりもり食べて元気に過ごそう



- 4 「す」の付くことば・・・「す○」

ヒント：大みそかやお正月に食べますね。

「すし」をいっぱい食べたいな



- 5 「み」のつくことば・・・「み○○」

ヒント：お友達のことです。

「みんな」1月14日、元気に会いましょう



終業式、始業式でこのお題で子どもたちに話しました。校長の話を生懸命聞いて、すぐ手を上げる子、友だちの話を聞いて、その内容を参考にして答える子、選択の絵から指さして答える子、本校のどの子どもたちも、あいうえお作文に関する内容を、自分なりに一生懸命考えてくれました。

私の用意したのと同じ内容を答える子どももいましたし、私の用意した回答ではないものもありました。私は、子どもたちがその内容を自分なりに考え、みんなの前で発表するその過程を大切にしたいと考えていましたので、回答の理由を聞き、どの回答も素晴らしいとみんなで拍手をして称えました。子どもたちの取り組む姿勢を思い出しながら、専門性を考慮した話であったか反省し、自身の専門性の向上に繋げていきたいと思っています。